

# 新ホール整備に関する検証結果

## 目 次

(1) 新ホール整備の検討経緯 .....	1
(2) 見直しパターン .....	2
(3) 物価変動を考慮した工事費の検証 .....	3
(4) ホール機能 .....	4
【参考】全国の文化ホール施設の状況	
県内の文化ホール施設一覧・稼働率	
都道府県別 ライブ・エンタテインメント公演回数の推移	
(5) 埋蔵文化財について .....	11
(6) 新ホール整備に係る意見等について .....	12

※検証結果は、令和5年7月時点の内容として取りまとめております。

(1) 新ホール整備の検討経緯

年度	主な内容
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島市が「緊急要望書・新ホール整備の早期実現に向けて」を県に提出 (R2.9)</li> <li>・県市協調未来創造検討会議 (R2.10~12)</li> <li>・新ホール整備検討状況を議会に報告 (R2.11)</li> <li>・県市協調新ホール整備基本方針(案)を議会に報告 (R2.12)</li> <li>・県市協調新ホール整備基本方針を策定 (R2.12)</li> <li>・県市協調新ホール整備基本計画(素案)を議会に報告 (R3.2)</li> <li>・県市協調新ホール整備基本計画(素案)のパブリックコメントを実施 (R3.2)</li> <li>・県市協調新ホール整備基本計画(案)を議会に報告 (R3.2)</li> <li>・1号補正で設計費に係る令和3年度予算計上及び債務負担の設定(合計約8.5億円) (R3.2)</li> <li>・県市協調新ホール整備基本計画を策定 (R3.3)</li> <li>・県市協調新ホール整備に関する基本協定を締結 (R3.3)</li> </ul>
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公募型プロポーザル公告 (R3.5)</li> <li>・プロポーザルの実施内容等を議会に報告 (R3.6)</li> <li>・プロポーザル一次審査 (R3.7)</li> <li>・プロポーザル二次審査、優先交渉権者選定 (R3.9)</li> <li>・プロポーザルの結果等を議会に報告 (R3.9)</li> <li>・優先交渉権者と基本協定、基本設計契約を締結 (R3.11)</li> <li>・管理運営計画検討委員会 (R4.3~R5.1: 6回開催)</li> </ul>
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本設計完了 (R4.6)</li> <li>・基本設計完了等を議会に報告 (R4.6)</li> <li>・市有地の負担付き贈与について議会で議決 (R4.6)</li> <li>・実施設計契約を締結 (R4.7)</li> <li>・県と市において市有地に係る財産譲与契約を締結 (R4.7)</li> <li>・県民ワークショップを開催 (R4.8~10: 4回開催)</li> <li>・徳島文化芸術ホール(仮称)管理運営計画(素案)を議会に報告 (R4.12)</li> <li>・徳島文化芸術ホール(仮称)管理運営計画(素案)のパブリックコメントを実施 (R4.12~R5.1)</li> <li>・新ホール整備費・約198億円を令和5年度から令和8年度までの継続費として計上 (R5.2)</li> <li>・徳島文化芸術ホール(仮称)管理運営計画(案)を議会に報告 (R5.2)</li> <li>・徳島文化芸術ホール(仮称)管理運営計画を策定 (R5.3)</li> <li>・インフラ整備に伴う埋蔵文化財調査で新たな遺構出土 (R5.1~3)</li> </ul>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財の出土によるスケジュールの調整で全体開館が令和9年9月に遅れる見込みであることを公表 (R5.6)</li> <li>・令和5年5月時点の工事費が約207億円となることを公表 (R5.6)</li> </ul>

(2) 見直しパターン

令和5年7月時点

	施設構成	①設計費	②工事費	*3③工事費（2%）	①+②	*4開館時期 (工事期間)	備考
パターン1：現計画 当初の要求水準書案 (延床面積：約17,000㎡)	大ホール：約1900席 小ホール：約400席	約6億円	約207億円 (約194億円)	約224億円 (約210億円)	約213億円 (約200億円)	R9.9 (約2年11ヶ月)	・（ ）内工事費は基本協定書に基づく試算
パターン2：現構造で規模縮小 現計画から小ホールのみ建設を 取りやめ (延床面積：約15,000㎡)	大ホール：約1900席 小ホール：なし	約6億円 *1(+α)	約169億円	約185億円	約175億円 (+α)	R10.5 (約3年1ヶ月)	・パターン1をベースに検証 ・構造変更をせずに縮小できる ・工事費及び規模 ・設計見直しに伴い追加の設計費が必要
パターン3：構造変更で規模縮小 大ホールの座席数を1500席に 縮小した上で、小ホールの建設を 取りやめ (延床面積：約14,000㎡)	大ホール：約1500席 小ホール：なし	約6億円 *1(+α)	約154億円	約170億円	約160億円 (+α)	R10.12 (約2年11ヶ月)	・パターン1をベースに検証 ・構造変更をすることで縮小できる ・工事費及び規模 ・設計見直しに伴い追加の設計費が必要
パターン4：新規計画 現JVと契約を解除。 整備基本計画の改訂を行い、 再度プロポーザルを実施 (延床面積：約11,000㎡)	大ホール：約1500席 小ホール：なし	*2約8億円 現設計は放棄	約132億円	約149億円	約140億円	— (約2年9ヶ月)	・再度の設計費負担が必要 ・契約解除に伴い、事業者からの 損害賠償請求を受ける恐れがある

〈注〉

- ・規模縮小を行った場合でも、多彩なジャンルの上演等に必要な機能は維持する。
- ・全てのパターンにおいて、ホールでの発表に向けた練習利用や、出演者が多い公演等での一時的な楽屋機能も果たす「多目的スタジオ」、「活動室」、「会議室」を設置する。
- ・財源については、全てのパターンにおいて、国の「交付金」や交付税措置のある有利な「起債」などの活用を努める。
- ・パターン4については、新規計画であるため、事業費、開館時期は変動する可能性がある。また、面積規模（延床面積）の増減によっても、事業費、開館時期は変動する可能性がある。
- ・パターン4の前提条件・・・敷地：現計画地、構造規模：地下1階 鉄筋コンクリート造、地上1～5階 鉄骨鉄筋コンクリート造、杭工事あり。）

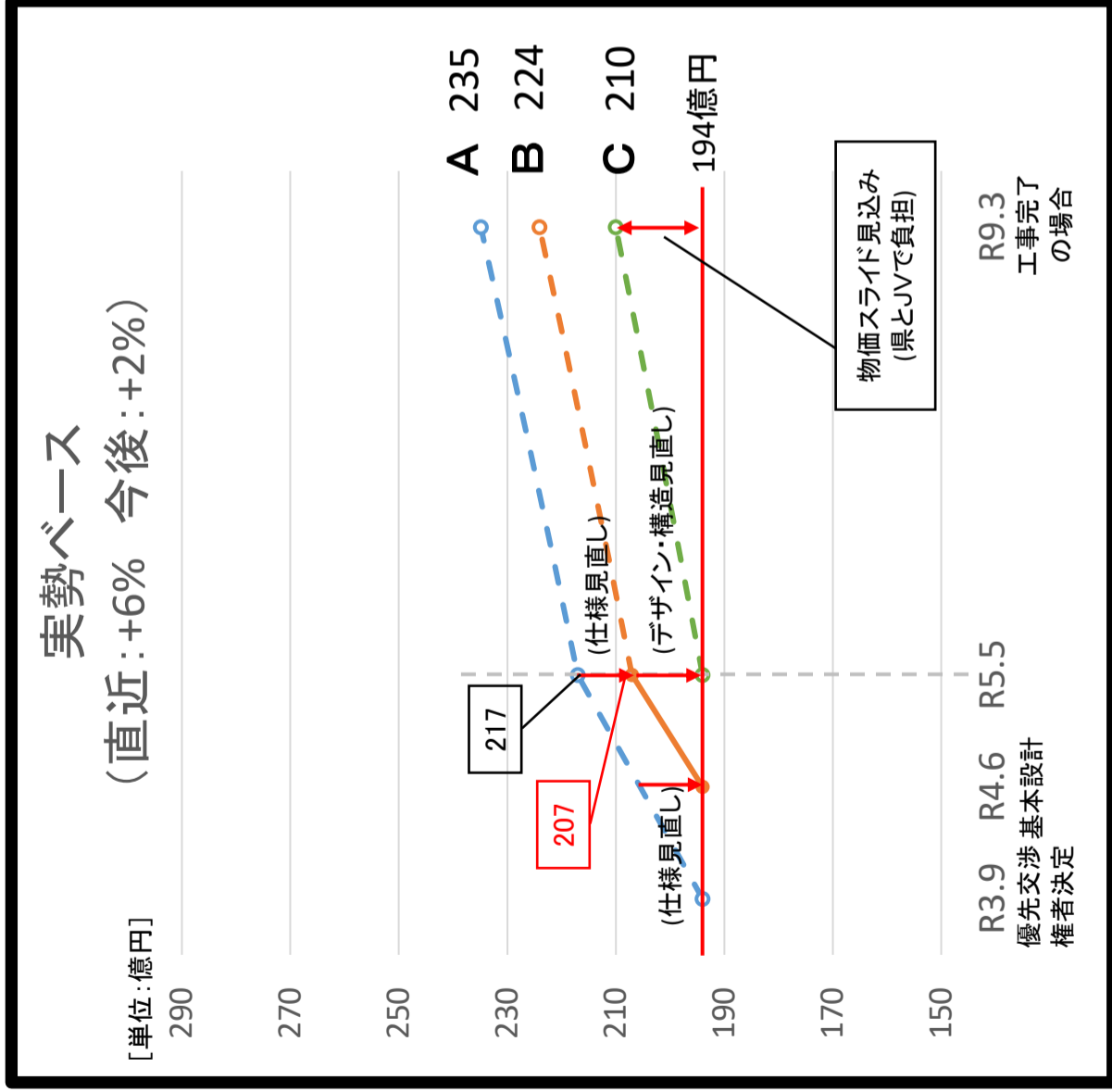
\*1+α・・・見直し内容に依りて追加の設計費用が生じる。（金額未定）

\*2約8億円・・・基本設計+実施設計金額（現計画参考）

\*3工事費（2%）・・・物価スライドとして工事完成まで「年間2%」上昇し続けた場合の金額。

\*4開館時期・・・「働き方改革関連法」により、2024年度から長時間労働の改善に向けた取り組みが進められた場合、パターン1、2、3では工事期間の更なる延伸の可能性がある。（約2ヶ月）  
パターン4は新規計画であり、働き方改革による取り組みを踏まえた工事期間となる。  
また、開館時期は、6ヶ月程度の習熟期間を踏まえた時期としている。

(3) 物価変動を考慮した工事費の検証 (P2 (2) のパターン1 : 現計画)

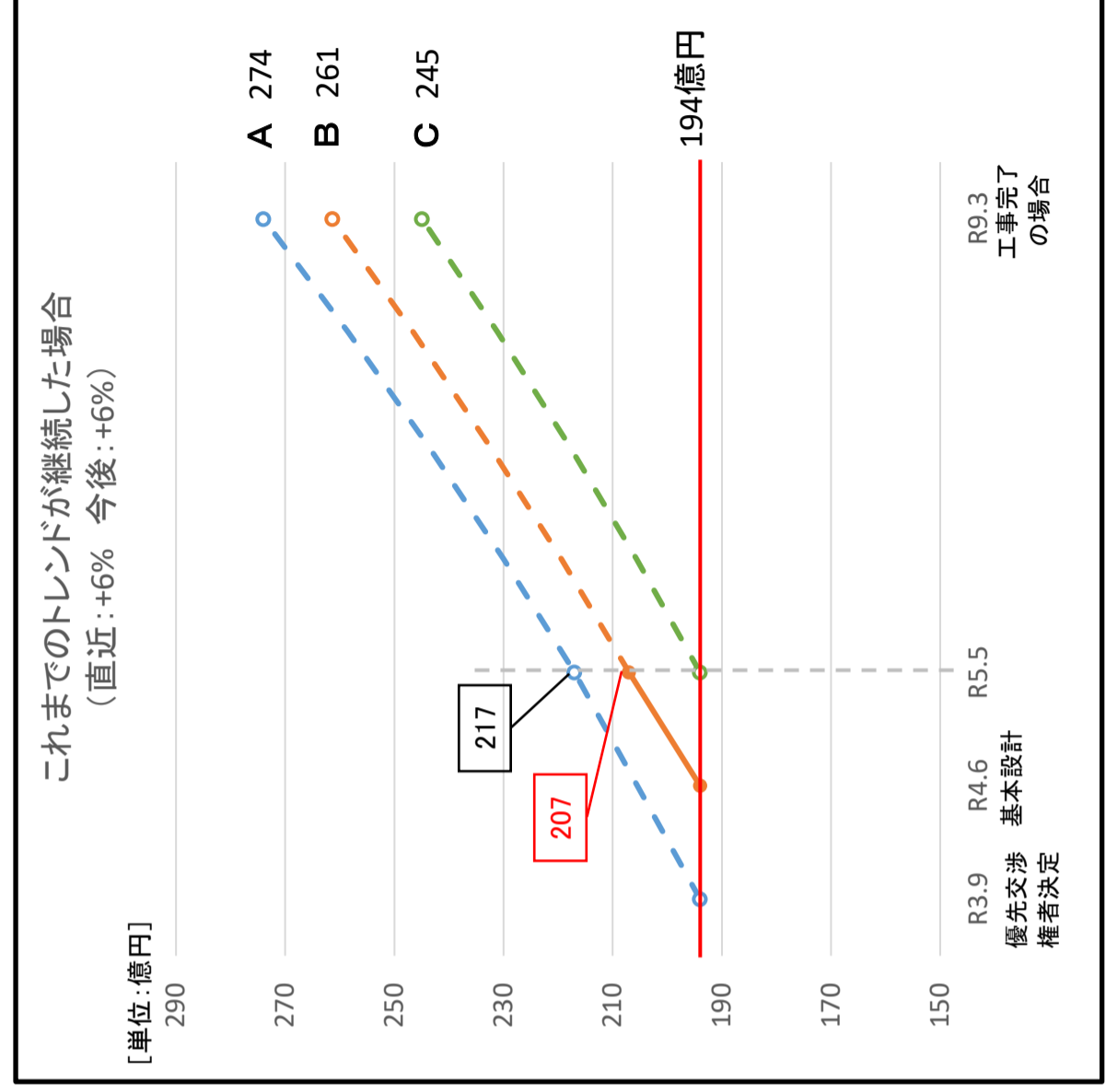


※物価指数の変動については鉄骨鉄筋コンクリート造

の指数を参考にして試算

※工期について分析したものではない

※デザイン・構造見直しの具体的な内容は今後検討



※物価指数の変動については鉄骨鉄筋コンクリート造

の指数を参考にして試算

※工期について分析したものではない

※デザイン・構造見直しの具体的な内容は今後検討

※最近の実勢を考慮すると+6%で上がり続けることは非現実的

#### (4) ホール機能

##### ①現計画の主な舞台等の機能

「文化芸術基本法」(平成29年度改正)、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」(平成24年度)が施行されるなど、公立文化ホール施設に求められる役割が多様化・高度化する中、新ホールにおいては、「県民の成果発表」、「鑑賞機会の提供」のみならず、「作品創作」、「次世代育成」等を行う「文化芸術の継承、創造、発信の場」として、また、にぎわい創出など、地域の課題に向き合い、その発展を支える拠点として、以下の舞台機能を有する大ホール、小ホール等の計画を進めてきました。

##### ■現計画の舞台等の機能

	大ホール	小ホール
客席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座席数は約1900席</li> <li>※障がい者席、観覧室の座席含む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座席数は約400席</li> <li>※障がい者席、観覧室の座席含む</li> </ul>
舞台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主舞台(幅18m×奥行き18m、高さは9~12mで可変)</li> <li>・袖舞台(幅は上手9m、下手11m)</li> <li>・音響反射板</li> <li>・大迫り、小迫り</li> <li>・脇花道(仮設)</li> <li>・オーケストラピット(前舞台利用可)</li> <li>・舞台奥行きに応じたバトン、サスペンションライト、ボーダーライト等</li> <li>・搬入口(11tトラック2台同時停車可)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主舞台(幅12.7m×奥行き9m、高さは6~9mで可変)</li> <li>・袖舞台(幅は上手6m、下手6m)</li> <li>・音響反射板</li> <li>・舞台奥行きに応じたバトン、サスペンションライト、ボーダーライト等</li> <li>・搬入口(11tトラック1台停車可)</li> </ul>
付属機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽屋(大2、中4、小4)</li> <li>・主催者控室、楽屋事務所</li> <li>・リハーサル室(18m×12m)など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽屋(中2、小2)</li> <li>・主催者控室、楽屋事務所 など</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラシックコンサート等に適した長めの響きから、講演会等に適した短めの響きまでに対応した音響計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノコンサート等に適した長めの響きから、講演会等に適した短めの響きまでに対応した音響計画</li> <li>・ガラス壁面は、2重のガラスの空気層間に暗転可能なスクリーンを装備</li> </ul>

※このほか、大ホール・小ホールでの発表に向けた練習利用や、出演者が多い公演等での一時的な楽屋機能も果たす「多目的スタジオ」、「活動室」、「会議室」等を設置

■各種ジャンルの公演等への適性の目安

ジャンル	大ホール		小ホール	
	適性	備える主な機能	適性	備える主な機能
オーケストラ ・吹奏楽	◎	音響反射板、前舞台	○	音響反射板
室内楽・ピアノ ・声楽等	◎	音響反射板	◎	音響反射板
オペラ	◎	オーケストラピット オペラカーテン	△	
ポップス・演歌 ・ジャズ	◎	PAブース	◎	PAブース
演劇	◎	緞帳、PAブース	◎	引割緞帳、PAブース
ミュージカル	◎	オペラカーテン、PAブース	△	PAブース
バレエ	◎	オーケストラピット オペラカーテン バレエシート	○	バレエシート
現代ダンス	◎	バレエシート	◎	バレエシート
歌舞伎・能・狂言	◎	定式幕（仮設）、脇花道（仮設） 所作台	△	定式幕（仮設）
邦楽	◎	緞帳	◎	引割緞帳
日本舞踊	◎	緞帳、小迫り、脇花道（仮設） 所作台	○	
阿波踊り	◎	前舞台、脇花道（仮設）	◎	
人形浄瑠璃	○	定式幕（仮設） 太夫台（仮設）	◎	定式幕（仮設） 太夫台（仮設）・船底機能
各種学会・大会 ・講演会	◎	スクリーン	◎	スクリーン

※適性は、「◎：上演に適する」、「○：上演が可能」、「△：上演にあまり適さない」で分類

あくまでも目安であり、公演の内容や出演者数等による

〔参考〕全国および県内の文化ホール施設の状況

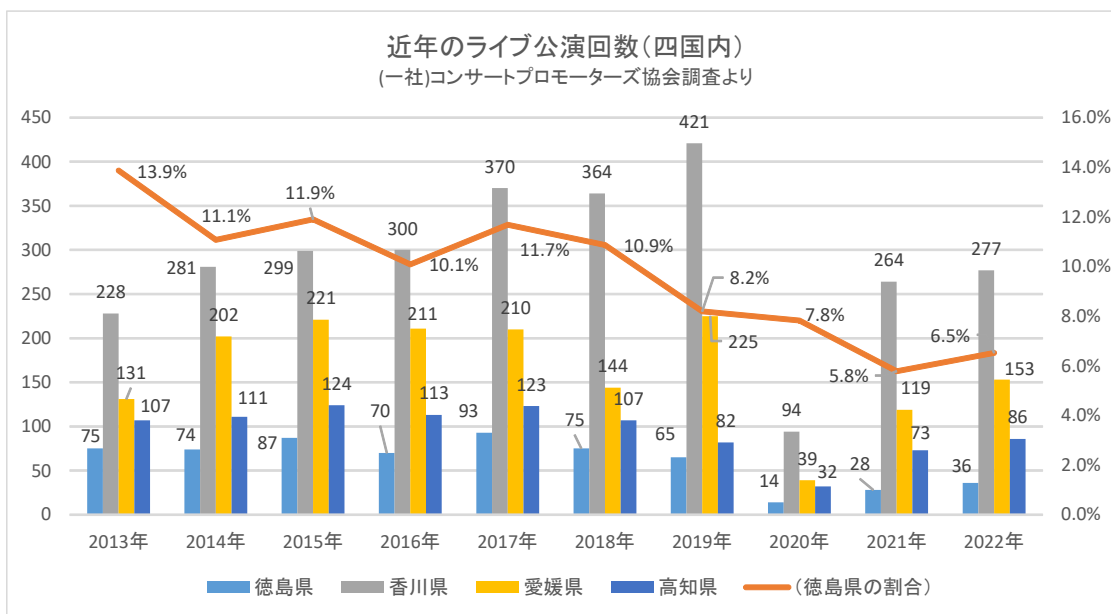
■全国の文化ホール施設の状況（7ページ参照）

- ・2000席程度の座席数の大ホールを備えるホール施設がある都道府県が多い一方で、一部の県では、1500～1800席程度の座席数の大ホールにより、一定のコンサート等の需用に対応している。
- ・県立文化ホール施設の場合、市町村や民間ホール施設とのバランス等もあり、大ホールの規模は様々であるが、小ホールを併せて備えている割合が高い。

■県内の文化ホール施設の状況（8～9ページ参照）

- ・1000席未満のホールが多数を占めており、稼働率は約10～80%と幅広く分布。
- ・徳島市内のほか、舞台機能が充実している市町村ホール施設の稼働率が高い傾向にあるが、稼働率が高くない施設をさらに有効活用する必要がある。

■四国内でのライブ公演回数（ポップス公演等）の状況（10ページ参照）



※アリーナ（アスティとくしまなど）での開催含む

※2015年に徳島市文化センター、2018年に阿南市文化会館が閉館、2021年に鳴門市文化会館が休館

(参考) 全国の文化ホール施設の状況

都道府県	人口 (千人)	施設数	座席数 総計	座席数 ／人口	大ホール座席数が多い 主なホール施設		主な都道府県立ホール施設		
					施設名	大ホール 座席数	施設名	大ホール 座席数	中小ホール 席座数
北海道	5,140	115	94,978	1.85%	札幌文化芸術劇場hitaru	2,302	北海道立道民活動センター	521	-
青森県	1,204	23	20,483	1.70%	青森市文化会館	2,031	-	-	-
岩手県	1,181	34	33,154	2.81%	岩手県民会館	1,991	岩手県民会館	1,991	602
宮城県	2,280	47	38,747	1.70%	仙台サンプラザホール	2,710	宮城県民会館	1,670	-
秋田県	930	25	22,760	2.45%	あきた芸術劇場(R4開館)	2,015	あきた芸術劇場(R4開館)	2,015	806
山形県	1,041	29	24,861	2.39%	山形県総合文化芸術館(R2開館)	2,001	山形県総合文化芸術館(R2開館)	2,001	※
福島県	1,790	37	35,997	2.01%	郡山市民文化センター	2,004	福島県文化センター	1,758	384
茨城県	2,840	42	40,463	1.42%	水戸市民会館(R5開館)	2,000	茨城県立県民文化センター	1,514	390
栃木県	1,909	27	31,352	1.64%	宇都宮市文化会館	2,000	栃木県総合文化センター	1,604	505
群馬県	1,913	49	46,467	2.43%	群馬県民会館	2,221	群馬県民会館	2,221	603
埼玉県	7,337	90	80,902	1.10%	ソニックシティ	2,505	彩の国さいたま芸術劇場	776	604
千葉県	6,266	59	52,807	0.84%	松戸市文化会館	1,955	千葉県文化会館	1,790	252
東京都	14,038	107	99,340	0.71%	東京国際フォーラム(民間)	5,012	東京文化会館	2,317	653
神奈川県	9,232	100	77,880	0.84%	神奈川県立県民ホール	2,493	神奈川県立県民ホール	2,493	433
新潟県	2,153	48	42,373	1.97%	新潟市民芸術文化会館	2,000	新潟県民会館	1,730	300
富山県	1,017	33	27,537	2.71%	富山市芸術文化ホール	2,196	富山県民会館	1,108	-
石川県	1,118	29	25,849	2.31%	金沢歌劇座	1,919	石川県立音楽堂	1,560	727
福井県	753	31	24,414	3.24%	フェニックス・プラザ	2,000	福井県立音楽堂	1,456	610
山梨県	802	25	17,924	2.23%	山梨県立県民文化ホール	1,989	山梨県立県民文化ホール	1,989	700
長野県	2,020	53	49,150	2.43%	長野県松本文化会館	2,000	長野県県民文化会館	1,971	984
岐阜県	1,946	53	50,137	2.58%	長良川国際会議場	1,929	岐阜県県民ふれあい会館	708	-
静岡県	3,582	55	60,976	1.70%	アクトシティ浜松	2,336	静岡県コンベンションアーツセンター	1,209	400
愛知県	7,495	100	93,599	1.25%	名古屋国際会議場	3,012	愛知県芸術劇場	2,480	1,800
三重県	1,742	37	31,029	1.78%	三重県総合文化センター	1,903	三重県総合文化センター	1,903	968
滋賀県	1,409	48	33,016	2.34%	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	1,848	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	1,848	804
京都府	2,550	36	34,792	1.36%	京都会館	2,005	京都府立府民ホール	560	-
大阪府	8,782	73	62,531	0.71%	大阪国際会議場	2,769	大阪国際会議場	2,769	-
兵庫県	5,402	93	67,070	1.24%	神戸文化ホール	2,043	兵庫県立芸術文化センター	2,001	800
奈良県	1,306	46	31,421	2.41%	なら100年会館	1,720	奈良県文化会館	1,313	300
和歌山県	903	20	16,542	1.83%	和歌山県民文化会館	2,000	和歌山県民文化会館	2,000	328
鳥取県	544	16	13,987	2.57%	米子コンベンションセンター	2,004	鳥取県立県民文化会館	2,000	500
島根県	658	34	24,771	3.76%	島根県民会館	1,537	島根県民会館	1,537	576
岡山県	1,862	50	40,631	2.18%	岡山シンフォニーホール	2,001	岡山県天神山文化プラザ	270	-
広島県	2,760	50	41,501	1.50%	ふくやま芸術文化ホール	2,003	広島県立文化芸術ホール	1,861	-
山口県	1,313	43	34,879	2.66%	KDDI維新ホール(R3開館)	2,000	山口県民文化ホールいわくに	1,205	500
徳島県	704	14	7,442	1.06%	徳島県郷土文化会館	809	徳島県郷土文化会館	809	-
香川県	934	19	17,164	1.84%	香川県県民ホール	2,001	香川県県民ホール	2,001	807
愛媛県	1,306	26	28,679	2.20%	愛媛県県民文化会館	2,725	愛媛県県民文化会館	2,725	912
高知県	676	27	16,349	2.42%	高知県立県民文化ホール	1,507	高知県立県民文化ホール	1,507	500
福岡県	5,116	67	63,622	1.24%	福岡サンパレス(民間)	2,316	福岡県国際文化情報センター	1,874	900
佐賀県	801	26	19,853	2.48%	佐賀市文化会館	1,811	-	-	-
長崎県	1,283	30	31,023	2.42%	長崎ブリックホール	2,002	シーサイドホールアルカスささほ	2,000	500
熊本県	1,718	37	30,344	1.77%	熊本城ホール(R1開館)	2,304	熊本県立劇場	1,810	1,172
大分県	1,107	28	22,863	2.07%	大分県立総合文化センター	1,966	大分県立総合文化センター	1,966	710
宮崎県	1,052	26	25,673	2.44%	宮崎市民文化ホール	1,882	宮崎県立芸術劇場	1,818	1,112
鹿児島県	1,563	54	43,250	2.77%	鹿児島市民文化ホール	1,998	鹿児島県文化センター	1,502	-
沖縄県	1,468	26	23,141	1.58%	沖縄コンベンション劇場	1,720	沖縄コンベンション劇場	1,720	-

※人口は、総務省ホームページ参照(2022年10月1日現在の人口推計)

※施設数は、(公社)全国公立文化施設協会掲載施設を参照(屋外劇場、アリーナをのぞく)

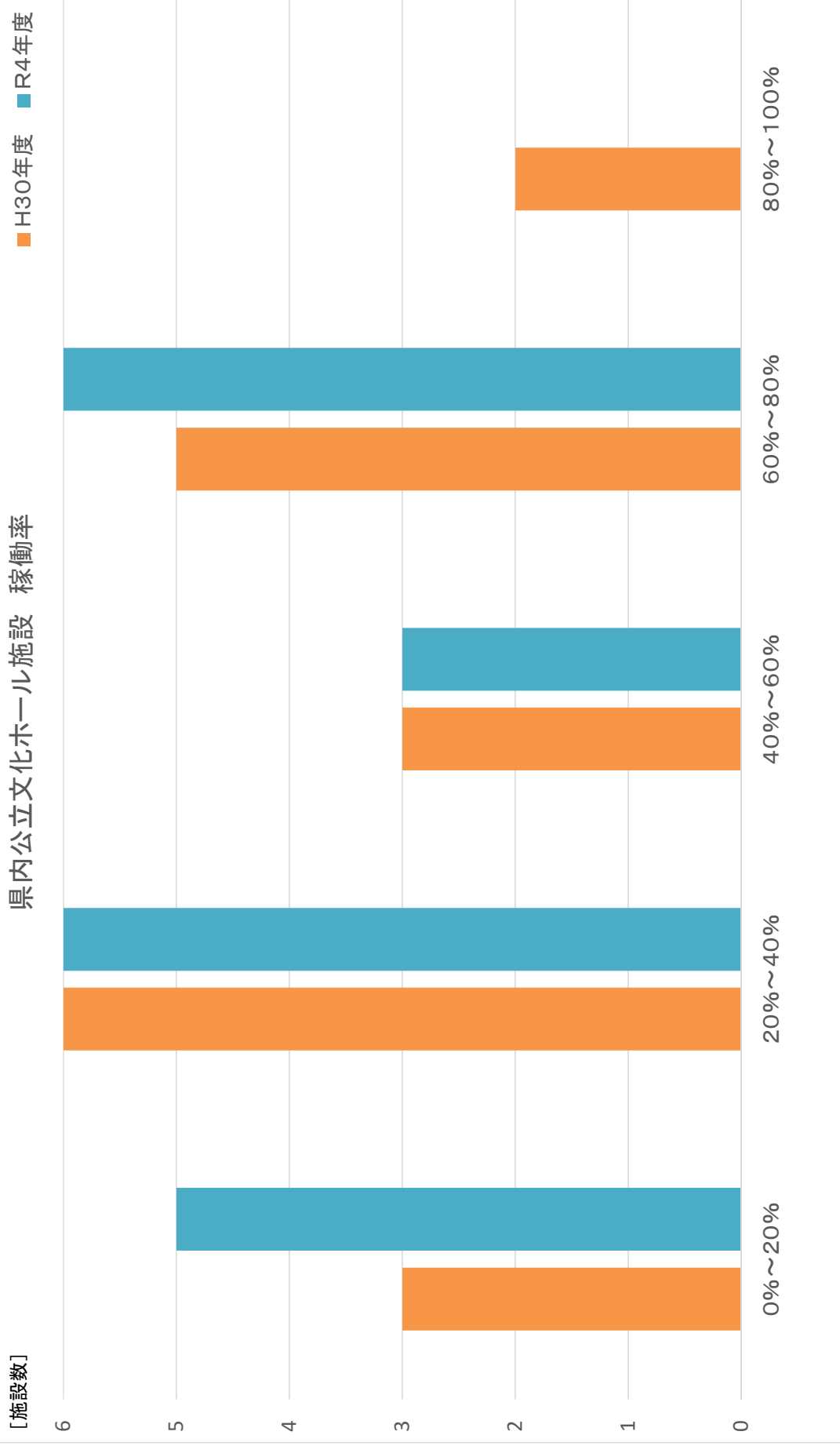
※山形県総合文化芸術館は、隣接して、市立の山形テルサ(大ホール:811席、小ホール:400席)があり



(参考)県内の文化ホール施設一覧

区分	設置者	施設名	座席数	休館日 (年末年始除く)
公立	徳島県	徳島県郷土文化会館	809	なし
		徳島県立21世紀館	300	月
		アスティとくしま	5,000	第3火
		ときわホール	142	第3火
	徳島市	徳島市シビックセンター	200	第1火
	鳴門市	鳴門市文化会館 ※休館中	1,600	火
	小松島市	小松島市ミリカホール	320	火
	阿南市	阿南市文化会館	693	水
		阿南市情報文化センター	600	月
	吉野川市	吉野川市鴨島公民館	615	火
		吉野川市アメニティセンター	486	水
	阿波市	阿波市交流防災拠点施設(アエルワ)	645	火
	美馬市	美馬市地域交流センター(ミライズ)	501	火
	石井町	石井町中央公民館	664	第1月
	牟岐町	海の総合文化センター	500	第3木
	美波町	美波町コミュニティホール	224	なし
	海陽町	阿波海南文化村	422	月
	松茂町	松茂町総合会館	402	月
	北島町	北島創世ホール	330	月
	藍住町	藍住町総合文化ホール	633	第4月
板野町	板野町文化の館	500	月	
民間・大学	大塚製薬	大塚ヴェガホール	280	平日
	徳島大学	長井記念ホール	300	なし
	徳島文理大学	むらさきホール	1,314	—
		アカンサスホール	450	—
	鳴門教育大学	講堂	500	全学一斉休業日

県内公立文化ホール施設稼働率



【備考】

- ・稼働率＝稼働日数(自主公演＋貸館公演)／開館日数(休館日は除く)
- ・H30年度当時開館している対象施設数19件、R4年度は休館施設を除き対象施設数20件

## 都道府県別 ライブ・エンタテインメント公演回数の推移

※(一社)コンサートプロモーターズ協会調べ

開催年 都道府県	計	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
北海道	10,362	782	920	1,050	1,178	1,318	1,235	1,348	307	1,018	1,206
青森県	1,365	125	178	184	194	186	162	142	23	72	99
岩手県	1,993	246	248	237	219	259	224	249	42	108	161
宮城県	10,360	897	1,095	1,113	1,232	1,296	1,252	1,341	273	806	1,055
秋田県	985	94	113	128	130	129	122	133	22	35	79
山形県	894	66	115	101	142	115	99	126	11	50	69
福島県	2,144	224	259	274	296	273	260	268	42	101	147
茨城県	1,133	85	131	122	183	140	119	122	38	85	108
栃木県	1,104	92	136	124	115	164	133	126	27	86	101
群馬県	1,172	85	134	123	140	146	163	126	34	110	111
埼玉県	4,686	375	513	588	496	567	611	579	144	348	465
千葉県	4,598	294	371	456	536	614	580	706	178	365	498
東京都	84,599	6,179	8,696	8,781	8,280	9,536	9,672	9,559	4,140	8,803	10,953
神奈川県	10,226	769	764	927	853	928	1,017	943	553	1,630	1,842
新潟県	4,723	456	534	527	629	541	497	506	262	346	425
富山県	1,099	107	113	193	167	140	102	102	19	84	72
石川県	3,069	261	286	323	406	409	322	371	66	312	313
福井県	885	77	114	149	118	112	87	83	21	61	63
山梨県	1,028	74	128	131	107	117	120	123	26	87	115
長野県	2,400	199	242	358	293	300	274	277	72	165	220
岐阜県	912	74	95	124	99	117	110	136	22	48	87
静岡県	3,049	239	281	317	367	347	377	413	93	228	387
愛知県	20,206	1,693	2,015	2,115	2,272	2,291	2,417	2,269	695	2,083	2,356
三重県	800	65	89	126	98	112	84	104	26	38	58
滋賀県	1,138	98	138	139	134	127	161	108	34	79	120
京都府	4,854	318	436	445	589	576	572	579	253	488	598
大阪府	45,511	3,862	4,680	4,858	5,170	5,030	5,159	5,065	1,863	4,286	5,538
兵庫県	5,907	496	602	578	660	654	671	760	193	487	806
奈良県	869	73	113	118	98	119	101	90	23	62	72
和歌山県	812	63	88	80	83	93	141	85	28	57	94
鳥取県	609	63	74	84	74	92	68	65	8	45	36
島根県	588	47	80	72	65	70	64	79	23	42	46
岡山県	3,226	279	330	358	394	414	409	428	82	262	270
広島県	6,429	527	632	815	713	770	850	830	172	476	644
山口県	891	64	78	100	108	125	108	117	22	76	93
徳島県	617	75	74	87	70	93	75	65	14	28	36
(四国内での割合)	10.07%	13.86%	11.08%	11.90%	10.09%	11.68%	10.87%	8.20%	7.82%	5.79%	6.52%
香川県	2,898	228	281	299	300	370	364	421	94	264	277
(四国内での割合)	47.29%	42.14%	42.07%	40.90%	43.23%	46.48%	52.75%	53.09%	52.51%	54.55%	50.18%
愛媛県	1,655	131	202	221	211	210	144	225	39	119	153
(四国内での割合)	27.01%	24.21%	30.24%	30.23%	30.40%	26.38%	20.87%	28.37%	21.79%	24.59%	27.72%
高知県	958	107	111	124	113	123	107	82	32	73	86
(四国内での割合)	15.63%	19.78%	16.62%	16.96%	16.28%	15.45%	15.51%	10.34%	17.88%	15.08%	15.58%
福岡県	12,912	1,000	1,202	1,482	1,408	1,524	1,497	1,720	398	1,227	1,454
佐賀県	468	24	45	49	90	59	55	58	16	24	48
長崎県	983	90	140	134	124	126	116	120	15	46	72
熊本県	1,722	133	169	163	177	229	217	216	62	136	220
大分県	844	68	94	104	161	112	92	81	20	44	68
宮崎県	854	68	119	145	133	112	82	81	25	40	49
鹿児島県	1,326	87	126	166	194	197	139	182	42	87	106
沖縄県	2,050	198	194	339	237	258	221	271	43	131	158
(その他 オンライン)	1,457	321	3	15	6	34	30	9	0	735	304
総公演数	273,370	21,978	27,581	29,546	29,862	31,674	31,482	31,889	10,637	26,383	32,338

## (5) 埋蔵文化財について

### ①埋蔵文化財の扱い

建設用地は、徳島城跡に関連する石垣や礎石、文化財保護法で定める「埋蔵文化財包蔵地」として、本県のみならず、我が国の歴史を考える上で、重要な場所となります。新ホール整備に係る「要求水準書」においても、当該地の埋蔵文化財については、「現地保存」（移設、破壊せず現状のまま保存）を前提に設計を行うこととしており、県及び関係機関が協力し、歴史的な重要性を踏まえ適切な方策を講じる必要があります。

### ②これまでの対応

埋蔵文化財については、最大限「現地保存」することを前提とし、「県文化財保護審議会」、「文化庁」、「一般社団法人日本考古学協会」において意見をいただきながら整備を進めてきたところです。

#### 【参考：これまでに出土した埋蔵文化財と対応方針】

- ・長蔵（長屋造りの藩の米蔵の礎石、側溝の一部）
  - ・・・「現地保存」、「側溝の一部のみ記録保存（インフラ整備箇所）」
- ・惣構え（徳島城の外郭の石垣、側溝の一部）・・・「現地保存」
- ・寺島口門台・北側（門の石垣の一部）・・・「現地保存」（一部可視化）
- ・寺島口門台・南側（門の石垣の一部）・・・「現地保存」
- ・周辺遺構

### ③今後の対応

今後の発掘調査により、新たな埋蔵文化財の出土があった場合は、これまでと同様、最大限の配慮を行ってまいります。なお、その際には、埋蔵文化財の保存方法の検討や「県文化財保護審議会」等への意見聴取を含め、適切な対応を行う必要があるため、新ホール整備に係る工期に影響を与える可能性も否定できません。

## (6) 新ホール整備に係る意見等について

### ①文化団体からの意見

#### ■施設規模、構成

- ・合唱や吹奏楽の全国大会が開催できるよう、大ホールは1800席必要
- ・四国四県の持ち回りの大会は、徳島県をとばして開催している状況であり、全国大会の誘致もできない
- ・全国大会では、大ホールと小ホールをセットで使う
- ・興業公演を行うなら、大ホールは1500席以上必要
- ・成果発表の場としては1500席は大きすぎる。800～1000席くらいで、1階席だけ借りられるなど、使い方に応じた貸出形態があったらいい
- ・大ホールは協会の合同発表会、小ホールは個別の発表会として利用を想定
- ・小ホールは日常使いとして利用を想定。とにかく早く整備してほしい
- ・大ホールと小ホールが別ではなく一堂に会することが重要
- ・大ホールに加えて、リハーサル室や小ホールが一緒にあることに意味がある
- ・コンクールでの利用を踏まえ、小ホールは大ホールに近接してほしい
- ・市町村のホールは、講演会など、公民館用途として造られたものも多く、楽屋が狭いなど使い勝手が悪い。また、公共交通機関でのアクセスがづらい

#### ■舞台・客席等の機能

- ・デザイン性よりも機能性を重視すべき。使い勝手が悪くては意味がない
- ・バレエやオペラの公演を開催できるような施設にしてほしい
- ・キャパシティも大事だが、音響のよいホールにしてほしい
- ・こだわりを持った音響設計をしてほしい
- ・演劇の発声に合った短い残響音にも対応できる造りにしてほしい
- ・コスト、席数だけでなく、舞台機構の仕様や、楽屋機能、円滑な動線なども重要
- ・トラックが入りやすい搬入動線をしっかりと考えてほしい
- ・花道、迫りを設けてほしい
- ・ホールの規模に見合った楽屋を設けてほしい
- ・楽屋に和室を設けてほしい
- ・大ホール、小ホール間は、雨に濡れないで移動できるようにしてほしい

#### ■その他

- ・県のランドマーク施設として、公演がないときでも楽しめる展示室やカフェがあるといい
- ・独立した展示室で作品展示をできるスペースを設け、常時にぎわいが生まれるようにしてほしい
- ・利用しやすい料金にしてほしい

- 徳島駅からホールまでの間に商業施設等を配置して、経済効果を上げ、中心市街地活性化の起爆剤とすることが必要
- 愛称やロゴマークを地元のデザイナーを中心に採用してほしい
- 方針が固まってしまう前に、文化団体からの意見を聞く機会を設けてほしい

## ②イベント主催業者等からの意見

- 徳島市文化センターの閉館などにより、興行する場がなくて困っている
- 地方のホールツアーで、2000席を満席にするアーティストは少ない頻度を考えると大ホールは1500席程度でもいいと思う
- 出演料など必要経費が上がっており、一流の演奏家を招聘するためには、座席数が多い方がやりやすい。学生に安い値段で売るなど幅が出てくる
- 大ホールでの興行を想定しているが、座席数の多い方が行いやすい
- 大ホールのみ施設であれば、地元の方と予約が競合し、大ホールを使用できない場合があるため、小ホールが併設されていることが望ましい
- 大・小ホールを合わせて整備したほうが興行収入も増えるのではないか
- 客席数だけでなく、舞台の広さ、舞台セット、搬入などの機能の充実も図ってほしい
- 座席数を落としたとしても、音響、搬入、舞台等の機能は充実しておくべき